

◆ 新収蔵資料紹介(令和8年度7月)展示解説シート ◆

日本タイヤ株式会社製タイヤ

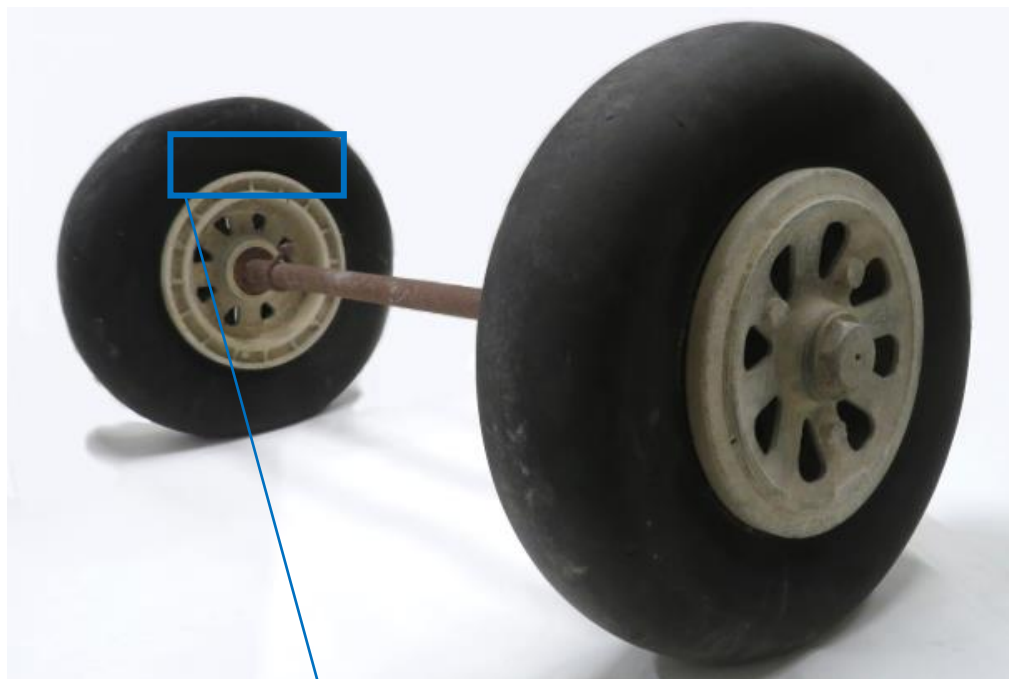
会期: 令和8年6月30日(火)～7月30日(木)

久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

本資料は2輪1軸のゴムタイヤで、令和8年3月31日付けで本市が寄贈を受けました。本来は小型戦闘機に使用されていたと考えられ、日本タイヤ株式会社製の陸軍一式戦闘機「隼」^{はやぶさ}の主脚タイヤ(昭和18年((1943)製)と規格が類似しています。本資料は、戦闘機での役目を終えた後にその丈夫さから、大八車^{たいはちぐるま}(人力で曳く荷物運搬のための車)に転用されていたもので、戦後のタイヤ再利用という変遷を知る上でも貴重な資料といえます。側面には「日本タイヤ株式会社製」と印字があり、本市では同社の社名標記のあるタイヤの収蔵は初めてとなります。

●日本タイヤ株式会社とは

昭和6年(1931)に石橋正二郎(1889～1976)が久留米市に設立した「ブリヂストンタイヤ株式会社」は、昭和17年(1942)、太平洋戦争の影響を受けて「日本タイヤ株式会社」へと社名を変更します。昭和26年(1951)に社名を「ブリヂストンタイヤ株式会社」とするまで、日本タイヤ株式会社の名称で操業しました。そして、昭和59年(1984)、「株式会社ブリヂストン」へと社名を変更し現在に至ります。



◀日本タイヤ株式会社製タイヤ

タイヤ側面「日本タイヤ株式会社製」印字▶

